

## 平成 30 年度門真市カドマイスター認定委員会 会議録

1. 開催日時 平成 31 年 1 月 30 日（水） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分
2. 開催場所 門真市役所別館 3 階 第 3 会議室
3. 出席者 （委員会）津田委員、高野委員、皆川委員、箕浦委員、小西委員  
増田委員  
（事務局）春田産業振興課長、清水産業振興課長補佐、  
児島産業振興課主査、坂川産業振興課係員
4. 内容 カドマイスター 2019 認定企業の選定
5. 傍聴定員 ー（非公開のため）
6. 担当部署 （担当課名）市民生活部 産業振興課  
（電 話）06-6902-5966（直通）
7. 会議録

### 【事務局】

定刻前ではございますけれども、委員の皆さまがおそろいになりましたので、只今より、門真市カドマイスター認定委員会を開催いたします。委員の皆様には月末の多忙な時期にも関わらず本日、委員会にご参集くださいますこと誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、私は産業振興課の春田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日の委員会は 2 時から 4 時までの開催の予定でございます。長時間となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、座ってご説明させていただきたいと思っております。

それでは、審議に入ります前に、配布資料の方の確認をさせていただきたいと思っております。お手元の資料をご確認ください。

上の方から、門真市カドマイスター認定委員会の次第でございます。続きまして、右肩に資料ナンバーを記載しておりますけれども、資料 1、門真市カドマイスター認定委員会委員の名簿でございます。続きまして、資料 2、カドマイスターを探せ 2019 の応募企業一覧でございます。続きまして、資料 3、門真市カドマイスターを探せ事業認定基準でございます。続きまして、資料 4、カドマイスター認定審査 審査票でございます。審査票につきましては、白紙のものを 3 社分セットしたものと後ろの方

に委員の皆さまが事前にいただいている印字したもの、2つ用意しておりますので、よろしくお願い致します。資料5、カドマイスター2019 認定委員会に係る事前質問に対する回答でございます。資料6、カドマイスター2019 認定委員会 評価できる点や今後の事業の展開に向けたアドバイスシートでございます。資料7、門真市附属機関に関する条例施行規則の抜粋でございます。最後に、資料8、審議会等の会議の公開に関する指針及び門真市公開条例の抜粋でございます。

以上でございますけれども、皆さまお手元の方にはございますでしょうか。

はい。ありがとうございます。続きまして、事前にお配りしております各社の申請書の一式の方は、本日は委員の方にご持参頂くということでございますけど、皆様ご持参頂いておりますでしょうか。

はい、ありがとうございます。

本委員会は議事録作成のため録音させて頂いておりますので、どうぞご了承ください。

#### 【事務局】

それでは、次第に従いまして進めてまいります。次第2、委員紹介をさせていただきます。

#### <<各委員の紹介>>

本会議は委員7名中6名の出席で過半数が出席しておりますので、附属機関に関する条例の規定により成立していることをご報告いたします。

続きまして、事務局を紹介いたします。

#### <<事務局の紹介>>

#### 【事務局】

次に、次第3、委員長、副委員長の選出でございます。資料7の方をご覧ください。附属機関条例の第4条第1項に、委員長及び副委員長は委員の互選により定めるとさ

れております。いかがいたしましょうか。

**【小西委員】**

事務局一任でいかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

**【事務局】**

ありがとうございます。それでは、事務局一任というご意見をいただきましたので、こちらの方からご指名させていただきます。委員長には津田委員、副委員長には高野委員にお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

**【事務局】**

ありがとうございます。それでは、皆様のご承認をいただきましたので、委員長には津田 盛之委員、副委員長には高野 浄委員とさせていただきます。

これより議事運営は、津田委員長にお願いしたいと思います。委員長、どうぞよろしくお願いたします。

**【津田委員長】**

みなさま、こんにちは。ただいまご承認をいただきました津田でございます。

またこの事業につきましては、皆様すでにご承知のことと思っておりますけれども、平成23年度からはじまっておりまして今年度で第8回目ということになりますけれども、門真の企業の元気な姿を後押しする形で選定したいというふうに思っていますので、議事の進行につきましてはよろしくご協力くださいますようお願いいたします。

それでは、次第に沿いまして4番目の、会議の公開・非公開についてにつきまして事務局の方からご提案お願いたします。

**【事務局】**

はい、資料 8、審議会等の会議の公開に関する指針及び門真市公開条例の抜粋をご覧ください。指針の第 3 条に会議の公開の基準が示されております。指針の第 4 条には、会議の公開・非公開は当該会議に諮って決定するとあります。事務局といたしましては、指針の第 3 条第 1 号の門真市情報公開条例第 6 条各号に掲げる不開示情報に該当する情報に関し、審議等を行う場合、並びに第 2 号の当該会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営が著しく阻害され、会議の目的が達成されないと認められる場合に該当すると考えられますので、非公開とする案でお諮りしたいと思います。

**【津田委員長】**

いま事務局の方から公開、非公開に関する提案がございましたけれども、ご異議ございませんでしょうか。

それでは特に、ご意見がないようですので、本会議につきましては非公開とすることと決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

**【津田委員長】**

ありがとうございます。それでは、当委員会につきましては非公開とさせていただきます。他に事務局から何かございますか。

**【事務局】**

はい、議事録につきましては、情報公開条例第 6 条の個人や法人情報についての非開示に関する部分を、非公開とする扱いにさせていただきたいと思います。

**【津田委員長】**

それでは、今ご説明がありましたように、議事録につきましては一部非公開ということとよろしいでございますか。ではそのようにさせていただきます。

では、早速審査にはいりますが、5 番目の審査の方法につきまして、事務局の方か

らご説明をお願いします

### 【事務局】

はい。お手元の資料3、門真市カドマイスターを探せ事業認定基準をご覧ください。  
基準第2にあります。認定は次の5つの視点で評価します。

1. 製品のブランド力が高い企業、製品力評価
2. 卓越した技術力・技能を有する企業、技術力評価
3. 品質管理の意識が高い企業、品質評価
4. 市場での占有率の高い企業、市場評価
5. 人材育成や社会貢献に対する取組を行う企業、その他評価です。

続いて、基準の第3第2項をご覧ください。評点項目につきましては、

1. 認定審査時、審査の基礎となる項目、基礎項目と
2. 認定審査時、記載することで加点される項目の加点項目でございます。

続いて、第6のとおり、基礎項目評価点に加点項目評価点を加えたものが総合評価点となり、上限は50点となります。認定の目安は概ね7割の得点となります。総合評価点の算出につきましては、まず評価項目ごとに各審査員の5段階評価点の平均点を算出します。5段階評価は高いものが5、低いものが1でお願いいたします。その平均点に所定のかけ率を乗じて評価項目の点数を算出します。その評価項目すべてを合計したものが企業の得点となります。評価項目のかけ率につきましては、各企業が申請書に記載した事業パターンによって決定します。事業パターンは企業それぞれの特徴に合わせて、製品力重視型・技術力重視型・総合力重視型の3通りがあります。

次に審査の方法についてですが、お手元の資料4、審査票をご覧ください。

現在、お手元には事前に皆様に記入していただいた審査表と白紙の審査表を配布させていただいております。どちらを使っても構いません。この後行われるプレゼンテーション等を参考に、白紙から記入するか記入済みのものに朱書き修正したもの、どちらかを提出してください。また、評価点とは関係はございませんが、評価できる点や今後の事業展開に向けた前向きなアドバイス等ございましたら資料6にご記入願います。その資料6については、事務局が取りまとめた後、委員長にご確認いただき、調整のうえ、委員長名で応募企業と委員さまに郵送等させていただきますの

で、あらかじめご了承ください。

最後に、本日の応募企業のプレゼンテーションについてご説明いたします。

1企業の持ち時間は15分でございます。およそ8分のPRと7分の質疑応答を行います。質問は簡潔に願います。時間が超過した場合は終了とさせていただきますのであらかじめご了承ください。応募企業全てのプレゼンテーションが終了したのち、個人審査・採点をしていただきます。審査表を提出していただきましたら、採点内容を事務局で集計いたします。採点結果が出ましたら、最後に委員のみなさまに全体審査をしていただいてから認定企業を選定する流れとなります。以上簡単でございますが、説明を終わります。

**【津田委員長】**

ありがとうございました。では、いまのご説明につきまして、何か委員の皆様からご質問等はございますでしょうか。

**【津田委員長】**

1点、プレゼンテーションの上手下手は、採点はしない？たとえば、時間切れになってしまったとか。

**【事務局】**

それは、評価外です。あくまでも企業の良し悪しです。

**【津田委員長】**

この資料と今日のプレゼンテーションによって評価するということですね。わかりました。

なにかございますか？ないようでしたら、プレゼンテーションに入りたいと思いますので、あとの進行の方は事務局の方でよろしく願いいたします。

《扶桑金属工業株式会社 入室》

**【事務局】**

それでは、一番目のプレゼンテーションに入りたいと思います。まずはじめは、扶桑金属工業さまでございます。8分間の企業様からのPRののち、質疑応答とさせていただきます。なお、プレゼンテーションの終了の3分前と1分前にはベルでお伝えいたしますので、どうぞよろしくお願いいいたします。はじめに自己紹介をお願いいいたします。そののちプレゼンテーションを開始していただきますようよろしくお願いいいたします。それでは、よろしくお願いいいたします。

《扶桑金属工業株式会社 プレゼンテーション》

**【事務局】**

ありがとうございました。以上で企業の方からのプレゼンテーションが終了しました。続いて質疑応答に入らせていただきます。ご質問のある委員の方は、挙手にてお願いいいたします。

《扶桑金属工業株式会社 質疑応答》

**【事務局】**

ありがとうございました。ではお時間となりましたので、以上で扶桑金属工業株式会社さまのプレゼンテーションを終了したいと思います。扶桑金属工業株式会社さまありがとうございました。

《扶桑金属工業株式会社 退室》

《株式会社大日商会 入室》

**【事務局】**

つづきまして株式会社大日商会さまのプレゼンテーションを開始いたします。株式会社大日商会さま、どうぞよろしくお願いいいたします。

《株式会社大日商会 プレゼンテーション》

【事務局】

ありがとうございました。ただいまより質疑応答に7分程度入らせていただきます。  
ご質問のある委員の方は、挙手にてお願いいたします。

《株式会社大日商会 質疑応答》

【事務局】

すみません、お時間ですが、最後に質問一問だけありませんか。  
特段ないようですので、これで株式会社大日商会さまのプレゼンテーションを終了  
いたします。株式会社大日商会さまありがとうございました。

《株式会社大日商会 退室》

《株式会社酒井製作所 入室》

【事務局】

それでは、引き続き株式会社酒井製作所さまのプレゼンテーションに入りたいと思  
います。8分間の企業様からのPRのあと、質疑応答とさせていただきます。プレゼ  
ンテーション終了の3分前および1分前にベルにてお伝えいたしますので、まず最初  
に自己紹介を頂きましてプレゼンテーションを開始してくださいませようお願いいた  
します。それではよろしくお願いいたします。

《株式会社酒井製作所 プレゼンテーション》

【事務局】

ありがとうございました。続いて質疑応答に入らせていただきます。ご質問のある  
委員の方は、挙手にてお願いいたします。



《株式会社酒井製作所 質疑応答》

【事務局】

お時間となりますけども、質問の方はよろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。以上で株式会社酒井製作所様のプレゼンテーションを終了いたします。株式会社酒井製作所様ありがとうございました。

《株式会社大日商会 退室》

【事務局】

以上で応募企業すべてのプレゼンテーションが終了いたしました。これから、委員の皆さまには個人採点を行っていただきます。終わりましたら、事務局が審査票を回収し、集計作業に入りますので、よろしく願いいたします。審査が終わりましたら、委員のみなさま方につきましては、現在 15 時 07 分ですので、15 時 40 分まで適宜、ご休憩をおとりください。

なお、お時間ある方につきましては、資料 6 の、評価できる点や今後の事業展開に向けたアドバイス等に関する記述もご記入がございましたら提出して頂きますようお願い申し上げます。

《各委員 審査》

【津田委員長】

では、審査を再開します。いまお配り頂きました集計表をご覧頂きましたら、全体のこの表にもとづきまして審査を行いたいと思いますが、最初に説明にありましたように認定基準の第 7 にありますように、ほぼ得点の 7 割があれば、得点をクリアしているということになるわけなんですけれども、その他、今のプレゼンテーションをお聞きになった結果、いろいろ問題点がでてきたかと思いますが、そういうことも含めまして選定できるかどうかということ、ご判断頂きたいというふうに思います。この委員会での合議ということですので、この点数表をご覧頂きながら、各企業につい

て審査を進めていきたいと思えます。

まず、第一に扶桑金属工業であります、合計点が■■点ということでクリアしているわけですが、なにか問題点等はございますでしょうか？このまま認定してよろしいでしょうか？特に問題はございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

それでは、扶桑金属工業株式会社については、選定するという事にさせていただきます。

次に株式会社大日商会でありますけれども、合計点が■■点ということでクリアしているわけですが、なにか問題点等はございますでしょうか？特になければこれも選定させていただきます。

(異議なしの声あり)

三番目に株式会社酒井製作所ですが、これも合計点が■■点で充分目安をクリアしておりますけれども、いかがでしょうか？

特に問題ございませんでしょうか？

(異議なしの声あり)

酒井製作所も選定するという事でさせていただきます。

ということで、事務局でもう一度説明をお願いします。

#### 【事務局】

ただいまの結果より全ての応募企業がカドマイスター認定企業候補として選定でございます。

**【津田委員長】**

それでは、これで審査がすべて終わったわけでありませけれども、特に何かご意見ございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。

それでは、今後の流れについて事務局の方からご説明をお願いします。

**【事務局】**

本委員会の結果をもって、市長に報告を行います。カドマイスターの認定式は2月26日、火曜日、13時30分からを予定しております。また、広報かどま5月号で認定結果を掲載します。そして、市ホームページへの掲載も行います。

最後に繰り返しとなりますが、資料6の、評価できる点や今後の事業展開に向けた前向きなアドバイス等の記載内容は、事務局が一旦取りまとめ、委員長にご確認いただいたのち、調整のうえ委員長名で後日、応募企業と委員さまに郵送等をさせていただきます。

なお、昨年、カドマイスターになった皆様のPRとして作成しました冊子等をお配りいたします。参考にお持ちください。

事務局からは以上でございます。

**【津田委員長】**

ありがとうございます。他に何かございますでしょうか？

一点だけ。いままでの選定した企業で、危なくなったという企業はないでしょうね？

《事務局 応答》

**【津田委員長】**

ありがとうございました。それでは審査の方が終わりましたので、円滑な議事進行にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。

## 【事務局】

本日は長時間にわたりご審査いただきありがとうございました。これをもちまして門真市カドマイスター認定委員会を閉会いたします。本日配布させていただきました資料の回収でございますけれども、資料4以降の方につきましては、及びお持ちいただいた申請書一式については回収させていただきますので、机の上に置いてお帰り頂きますようお願いいたします。

また、委員の皆さま方からの事前質問に対する応募企業の回答内容につきましても、各委員様には1月18日付けでメールを送付しておりますけれども、こちらも満足度調査とかで取引先企業の情報とかも書いておりますので、できる限り破棄いただきますようよろしくお願いいたします。事務局からは以上でございます。ありがとうございました。

<<閉会>>

以上